

放課後等デイサービス自己評価表 集計および施設内会議結果					施設名: アプリ児童デイサービス清瀬	
自己評価実施職員数: 6人					検討会議実施日: 令和2年1月21日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善を要する点の有無 施設内会議での意見
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	指導訓練室としては広めのスペースを確保できているが、利用児童によってはスペースの区切りによる構造化やクールダウン室、聴覚過敏への配慮や自習室等も必要でないかと思う。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1	0	人員基準以上の人数を備えているが、送迎時の人員の出入り等の実人数を考慮すると、やはり人手はある程度は多い方がよいと思う。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	0	現状の利用児童への設備としては申し分ないと思う。今後の新規のお子様の状態に関して、都度バリアフリー化や安全面に対する確認は必要である。場合によっては机や椅子も危険物となり得るので注意が必要である。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2	0	業務改善への取り組みを行っているが、PDCAサイクルを有効的に取り入れることができていないので検討が必要。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	保護者様からの評価に合わせて、日頃からご意見を取り入れて業務改善に繋げていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	ホームページ上での公開を行っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	6	第三者委員としての外部評価は現状では取り入れていない。
適切な 支援の 提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	毎月、事業所内にて研修を行っている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	アセスメントの精度を上げるために、保護者様や職員間との情報共有を密にして取り組んでいきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0	社内で統一したアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	0	担当制による個人としての立案が主体となっているが、予定・計画に関しては標準化されたツールを使用しており、全体としての仕組みとして機能できている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	活動プログラムは固定化されないよう取り組んでおり、毎日別々の取り組みができています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	休日・長期休暇としてのプログラムを行っているが、リスク面から外出活動をいくらか制限している部分があるので、プログラムの幅やバリエーションを増やし、細部の設定も綿密に行っていきたい。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	児童の課題や状況に応じている。集団活動や集団参加等によって浮彫りになった個別の課題に対してテーマ付けをしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	毎日の朝礼を行い、通所する児童の注意事項や支援方法等の確認と職員の役割についての協議を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	毎日の終礼を行い、当日の気づきや反省点や情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	0	毎日の支援の中で、経過記録をとることで、児童の様子確認や振り返りを行っている。
関係機関 や保護者 との連携	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	実施状況や、モニタリングに対して職員間での把握やご家族のご意向を取り入れて見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6	0	0	放課後等デイサービスガイドラインに沿って、放課後等デイサービスとしての役割に応じた体制をとれるようにしている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	管理者兼児発管が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1	0	現状では関係する特別支援学校の危機管理や仕組みの中で多くの情報共有や体制の中で活動を行わせていただいている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3	0	深刻な医療的ケアのケースがないのが現状。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	2	一部の関係機関との交流は行えているが、全機関との情報共有は行えていないため、率先して情報共有を図っていただきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2	2	まだ、ケースがないが現状ではあるが、移行先への情報提供をするような仕組みや想定を準備できていないために、今後は移行先に対してのアプローチを行っていきけるようにする。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	0	助言をいただくこともあるが、こちらの事業所が主体的になって行動はできていない。今後は連携を取っていくべき。
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	2	外出時には、障がいを意識することなく、様々な場所や行事に参加している。しかしながら、中にはご理解がいただけない場合や、トラブルに発展するケースも想定すべき見方も必要と感じる。	

	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	2	部分的な参加はできているが、積極的な参加ではない。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	0	日頃というところでは、送迎時や連絡帳ツールでの情報共有を主体に行っている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	保護者様への専門的なアドバイスに関しては、今後は強く意識して実施していくべきと感じる。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2	0	初回契約時や契約更新時のみに留めているのが現状となる。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2	0	保護者様からのご相談に関しては都度の必要な対応を行わせていただいている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	6	現状では保護者様同士を招いた企画等を開催していないが、今後は検討していきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	苦情対応の研修や、未然の防止策を整備すると共に、職員間で迅速に対応できるように体制を整えていきたい。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	3	3	以前はブログによる活動報告を主体としていたが、今後は別の媒体により、個人情報に配慮を行いながらの対応を検討していきたい。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	個人情報の取り扱いや、児童情報の露呈には十分注意するように日頃から職員間で共有を行っている。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	0	配慮に対して心掛けているものの、今後も精度の高い配慮を行えるように共有を図っていきたい。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	6	行事を地域住民に開けた形で招待はしていなかったため、今後は検討していきたい。
	非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	2
③⑲		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	年3回の防災訓練を行っており、内2回は消防署の職員の方にも来ていただき、ご指導を承っている。
④①		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	虐待防止委員会を設置し、月間での事例検討や知識の向上を図るために職員間での共有を行っている。
④②		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6	0	0	身体拘束を行うに至るケースがまだない。しかしながら、そういったものも想定し、組織的な決定や関係者を巻き込んで相談する体制を整えておきたいと思う。
④③		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	3	3	食物アレルギーに関しては、ご家族の情報を元に安全に取り組めるようにしている。しかしながら、医師の指示書に基づく対応には至っていないために、対応を行っていただきたい。
④④		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2	1	ヒヤリハットの作成と共有は行っているが、今後はより詳細な事例もヒヤリハットとしての記録ができるように対応を行っていただきたい。

保護者向けアンケートをふまえての改善点・意見など

当事業所として大多数の対応を行わせていただいている特別支援学校の高等部の校舎が移転となるので、主に小・中のお子様がいいらっしゃる親御様からの高3年生までの放課後等デイサービスの使用が継続的にできるかの心配の声が多かった。事業所としては可能な限り、必要とされる中で特別支援学校卒業まで対応させていただき所存である。

区分制度や放課後等デイサービスの制度自体の永続的な存在に対する心配の声も聞かれた。こちらは事業所主体ではないので、都度の正しい情報を確にお伝えしていきたいと思ふ。

社として、放課後等デイサービス以外のサービスを必要とされる声もあった。中でも学

校卒業後のサービスに対する期待が多かった。社としては、お子様の時系列と状況・状態にそれぞれ応じることができるサービスを行うことで、長期的にお子様の人生に関わらせていただけるように考えている。

昨今の災害による心配もあり、事業所としての対応の幅や避難計画等を心配されている声が聞かれた。避難訓練等の報告を行っているが、マニュアル別の存在に対して詳細なご説明をさせていただいている訳ではなかったため、周知を行っていききたい。こちらはマニュアルを通して、実態に照らし合わせてリアルな行動ができるように事前に訓練計画を立てていきたい。ブログによる活動報告を行っていたが、個人情報への配慮から閉鎖を行った。ブログを楽しみにしていらしたご家族様や、ブログから情報を取り入れられていらしたご家族様が多かったことから残念に思われる声が多かった。ブログに代わる情報共有ツールや活動報告を行えるものを選定していきたい。

保護者様との情報共有も必要であるが、学校や他事業所との情報交換や連携を密にとって欲しいとのご意見があった。学校との連携は行わせていただいているが、複数の放課後等デイサービスを使用されているお子様も以前に比べて多くなっていることから、どのような取り組みを行っているかやお子様への支援方法を共有し、支援の共有化や最適化を図る必要を感じる。今後は積極的に他事業所との情報共有を行っていききたい。

そのほか、日頃の感謝の声をいただいている。